

## 20人程度の少人数学級の実現に関する意見書（案）

新型コロナウイルス感染症の拡大により、教育現場は大きな影響を受け、子供たちはかつてない不安とストレスを抱え、学習の遅れや教育格差の拡大も深刻になっている。

また、40人学級では、感染症防止対策である身体的距離を取ることができない。そうした中、学校再開後の分散登校における少人数授業では、児童・生徒一人一人の顔がよく見えることや、授業の理解が深まることを教師も子供たちも実感した。

本年7月には、全国知事会、全国市長会及び全国町村会による「新しい時代の学びの環境整備に向けた緊急提言」において、少人数編制を可能とする教員の確保が要望された。また、本年8月には、新しい時代の初等中等教育の在り方を議論する中央教育審議会の特別部会から中間まとめ（骨子案）が発表され、身体的距離の確保に向けて、教室等の実態に応じて少人数編制を可能とするなど、新時代の教室環境に応じた指導体制や必要な施設・設備の整備を図るとの文言が盛り込まれた。

今、子供たちに必要なことは、一人一人に寄り添った手厚くゆとりある教育である。

よって、東京都議会は、国会及び政府に対し、令和3年度予算編成に当たり、子供たちが安心して学ぶことができるよう感染防止を図るとともに、速やかに、20人程度の少人数学級を実現するための予算措置を講ずるよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年10月 日

東京都議会議長 石川良一

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
総務大臣  
財務大臣  
文部科学大臣

} 宛て